

(4) 住宅の規模

専用住宅の「1住宅当たり居住室数」は3.16室、「1住宅当たり居住室の畳数」は24.57畳、「1住宅当たり延べ面積」は64.02㎡となっている。平成30年と比較すると、「1住宅当たり居住室数」は0.08室減少、「1住宅当たり居住室の畳数」は0.18畳減少、「1住宅当たり延べ面積」は1.16㎡減少している。

「1人当たり居住室の畳数」は12.49畳、「1室当たり人員」は0.62人となっている。平成30年と比較すると、「1人当たり居住室の畳数」は0.32畳増加、「1室当たり人員」は0.01人減少している。

また、専用住宅の「1住宅当たり延べ面積」を都道府県別にみると、東京都は、全国で最も狭くなっている。(表6、図6)

**表6 専用住宅の1住宅当たり居住室数・居住室の畳数・延べ面積、
1人当たり居住室の畳数及び1室当たり人員**

年次	専用住宅				
	1住宅当たり 居住室数	1住宅当たり 居住室の畳数	1住宅当たり 延べ面積	1人当たり 居住室の畳数	1室当たり人員
	室	畳	㎡	畳	人
昭和53年	3.25	18.48	50.66	6.46	0.88
58年	3.38	19.75	54.24	7.20	0.81
63年	3.48	21.04	56.72	7.91	0.76
平成5年	3.45	21.56	58.95	8.61	0.73
10年	3.41	22.01	59.43	9.50	0.68
15年	3.45	23.15	62.54	10.42	0.64
20年	3.38	23.24	62.51	10.87	0.63
25年	3.33	23.98	63.54	11.68	0.62
30年	3.24	24.75	65.18	12.17	0.63
令和5年	3.16	24.57	64.02	12.49	0.62
平成30年～令和5年 増減数	△ 0.08	△ 0.18	△ 1.16	0.32	△ 0.01

注) 「専用住宅」とは、居住専用に建築された住宅を示す。

図6 令和5年 都道府県別専用住宅の1住宅当たり延べ面積（上位及び下位5都道府県）

